

平成22年度実施施策に係るモニタリング

(文部科学省22-9-1)

施策目標	学術研究の振興					
施策の概要	研究者の自由な発想に基づく学術研究について、新しい知を生み続ける重厚な知的蓄積を形成することを目指し、萌芽段階からの多様な研究や時流に流されない普遍的な知の探求を長期的視点の下で振興する。					
達成目標及び測定指標	達成目標(1)	大学・大学共同利用機関等における独創的・先端的基礎研究について一定の資源を確保し、全国の大学研究者等による共同利用・共同研究体制等により推進する。また、国際的な頭脳循環の実現に向け、国内外の若手研究者を惹きつける研究基盤の整備を強化・加速する。				
	測定指標	基準値	実績値(進捗状況)			目標値
		-年度	20年度	21年度	22年度	-年度
	特別経費(学術研究)による研究事業の進捗状況(特別経費進捗状況報告書において、事業毎に4段階評価)	-	3.4	3.3	集計中	4段階評価の平均値が3以上(毎年度)
	国立大学における文部科学大臣からの認定を受けた共同利用・共同研究拠点数	-	1	70 注1	74	対前年度比増
	年度ごとの目標値		-	-	-	
	参考指標					
	大学・大学共同利用機関等における独創的・先端的基礎研究関連予算(単位:百万円)	-	118,677	114,573	111,116	-
	国立大学における共同研究・多様な学術研究の推進(単位:百万円)	-	16,771	17,278	15,945	-
	大学共同利用機関における独創的・先端的基礎研究の推進(単位:百万円)	-	92,662	92,661	90,986	-
	共同利用を推進するための大型設備の整備(単位:百万円)	-	9,244	4,634	4,185	-
	「最先端研究基盤事業」実施事業数	-	-	-	14	-
	達成目標(2)	学術研究に関する競争的資金(科学研究費補助金)について、人文・社会科学から自然科学までのあらゆる研究分野への幅広い助成を行うとともに、制度改革を着実に進めることにより、優れた研究成果の創出に寄与する。				
	測定指標	基準値	実績値(進捗状況)			目標値
		-年度	20年度	21年度	22年度	-年度
科学研究費補助金の採択件数(件)	-	56,582	59,460	64,713	対前年度比増	
年度ごとの目標値		-	-	-		
参考指標						
学術研究に関する競争的資金予算額(科学研究費補助金)(百万円)	-	193,200	196,998	200,000	-	
研究成果として報告のあった研究論文数(件)	-	133,136	集計中	集計中	-	
研究成果として報告のあった図書数(件)	-	14,136	集計中	集計中	-	
研究成果として報告のあった産業財産権数(件)	-	2,441	集計中	集計中	-	

	達成目標(3)	人文・社会科学分野の振興を図るため、社会のニーズに基づく現代的な課題に対応した総合的・融合的な研究を振興し、優れた成果を創出するとともに、人文・社会科学をはじめとする特色ある分野における共同利用・共同研究拠点の整備を図る。				
	測定指標	基準値	実績値(進捗状況)			目標値
		-年度	20年度	21年度	22年度	-年度
「政策や社会の要請に対応した人文・社会科学研究推進事業」実施課題数	-		14課題 (新規4課題)	13課題	12課題 (新規3課題)	平成24年度から独立行政法人日本学術振興会に事業を移管する予定
「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」において整備されている共同利用・共同研究拠点数	-		5	7	7	現状維持
年度ごとの目標値			-	-	-	
【参考】「政策や社会の要請に対応した人文・社会科学研究推進事業」における中間評価・最終評価の結果 (平成20年度評価指標:世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業 中間評価) (平成21・22年度評価指標:世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業 最終評価)	-		A…0 B…5 C…0 D…0	S…0 A…1 B…2 C…1 D…0 E…0	S…0 A…2 B…3 C…0 D…0 E…0	-
施策の予算額・執行額等 上段:単独施策に対応する経費 下段:複数施策に対応する経費	区分		21年度	22年度	23年度	24年度
	予算の状況 (千円)	当初予算	198,314,457 <1,246,977,988>	241,232,636 <1,241,247,408>	281,869,964 <1,235,827,464>	267,780,859 <1,344,654,919>
		補正予算	157,522,748 <117,968,251>	0 <5,039,790>	0 <18,798,458>	
		繰越し等	△928,750 <36,304,542>	△24,796,313 <38,409,144>		
		合計	354,908,455 <1,401,250,781>	216,436,323 <1,284,696,342>		
執行額(千円)		354,879,921 <1,399,077,402>	216,349,462 <1,283,256,735>			
施策に関係する 内閣の重要政策	名称	年月日	関係部分(抜粋)			
	第3期科学技術基本計画	平成18年3月28日	<p>第2章 科学技術の戦略的重点化 1.基礎研究の推進 「多様な知と革新をもたらす基礎研究については、一定の資源を確保して着実に進める。」</p> <p>第3章 科学技術システムの改革 2.科学技術システムの改革 (1)競争的環境の醸成 「研究者の研究費の選択の幅と自由度を拡大し、競争的な研究開発環境の形成に貢献する科学研究費補助金等の競争的資金は、引き続き拡充を目指す。競争的資金を獲得した研究者の属する機関に対して研究費の一定比率が配分される間接経費については、全ての制度において、30%の措置をできるだけ早期に実現する。」</p>			
経済財政改革の基本方針2009	平成21年6月23日	<p>第2章 成長力の強化 5.中小企業の活性化と研究開発の強化 ②研究開発の強化等 ・将来のイノベーションの源泉となる基礎科学力強化や出口を見据えた研究開発の促進に取り組む。 また、「研究開発力強化法」22等に基づき、産学官連携の強化、研究成果の実用化促進、研究支援体制強化、多様な人材のにも、次期科学技術基本計画の策定に向けた検討を進める。 ・我が国を代表する研究者が研究に専念できる新たな研究者最優先の支援制度等により、<u>世界最先端の研究開発を推進し、基礎研究も含め我が国の研究開発力や国際競争力の強化を図る。</u></p> <p>第3章 安心社会の実現 4.教育の再生 ・(中略)②高等教育については、国際的に開かれた大学づくり、高等教育の教育研究基盤の充実、競争的資金の拡充などの新たな時代に対応した教育施策に積極的に取り組む。</p>				

	<p>新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～</p> <p>平成22年6月18日</p>	<p>第3章 7つの戦略分野の基本方針と目標とする成果</p> <p>(5) 科学・技術・情報通信立国戦略(P.28～P.30) 2020年までに、世界をリードするグリーン・イノベーション(環境エネルギー分野革新)やライフ・イノベーション(医療・介護分野革新)等を推進し、独自の分野で世界トップに立つ大学・研究機関の数を増やすV. 15.「リーディング大学院」構想等による国際競争力強化と人材育成(P.47) 拠点形成と集中投資により、我が国の研究開発・人材育成における国際競争力を強化する。(略)最先端研究施設・設備や支援体制等の環境整備により国内外から優秀な研究者を引きつけて国際頭脳循環の核となる研究拠点(略)を形成する。</p>
	<p>総合科学技術会議 「科学技術に関する基本政策について」に対する答申</p> <p>平成22年12月24日</p>	<p>IV. 基礎研究及び人材育成の強化 2. 基礎研究の抜本的強化 (1) 独創的で多様な基礎研究の強化(P.24) 基礎研究は、研究者の知的好奇心や探究心に根ざし、その自発性、独創性に基づいて行われるものである。その成果は、人類共通の知的資産の創造や重厚な知の蓄積の形成につながり、ひいては我が国の豊かさや国力の源泉ともなるものである。このような独創的で多様な研究を広範かつ継続的に推進するための取組を強化する。 < 推進方策 > ・ 国は、科学研究費補助金について、新規採択率30%及び間接経費30%の確保に向けて、一層の拡充を図る。 (2) 世界トップレベルの基礎研究の強化(P.25) < 推進方策 > ・ 国は、国際的な頭脳循環(ブレインサーキュレーション)における中核的拠点として、最先端の大型研究開発基盤を有する研究拠点の形成を進める。 V. 社会とともに創り進める政策の展開 3. 実効性のある科学技術イノベーション政策の推進 (2) 研究資金制度における審査及び配分機能の強化 ① 研究資金の効果的、効率的な審査及び配分に向けた制度改革 ② 競争的資金制度の改善及び充実</p>
<p>有識者会議での指摘事項</p>		
<p>指標に用いたデータ・資料等</p>	<p>達成目標(1) ○測定指標: 大学・大学共同利用機関等における独創的・先端的基礎研究関連予算 名称: 平成22年度文部科学省 各局課別予算案等の発表資料一覧「大学・大学共同利用機関等における独創的・先端的基礎研究の推進」 (作成: 文部科学省)(作成又は公表時期: 平成22年1月) (基準時点又は対象期間: 平成22年度) (所在: 文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afiedfile/2010/01/19/1289012_016.pdf) ○測定指標: 特別経費(学術研究)による研究事業の進捗状況 名称: 特別経費(20年度、21年度は、特別教育研究経費)進捗状況 平成21年度 (作成: 文部科学省)(作成又は公表時期: 平成22年9月～10月頃) (基準時点又は対象期間: 平成21年度) (所在: 文部科学省) 平成22年度 (作成: 文部科学省)(作成又は公表時期: 平成23年9月～10月頃) (基準時点又は対象期間: 平成22年度) (所在: 文部科学省) ○測定指標: 国立大学における共同利用・共同研究拠点数 名称: 平成22年度「共同利用・共同研究拠点」申請・認定状況 (作成: 文部科学省)(作成又は公表時期: 平成22年7月) (基準時点又は対象期間: 平成22年7月1日現在) (所在: 文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/kyoten/index.htm) (注1) 平成21年度は、翌年度の国立大学法人の第2期中期目標・中期計画期間の開始に合わせ、多くの附置研究所等からの申請があり、科学技術・学術審議会における審議を経て、従来の全国共同利用附置研究所等を含めて共同利用・共同研究拠点として認定されたため、拠点数が大幅に増加した。 ○測定指標: 「最先端研究基盤事業」実施事業数(平成22年度) 名称: 「最先端研究基盤事業」補助対象事業の決定について (作成: 文部科学省)(作成又は公表時期: 平成22年6月22日) (基準時点又は対象期間: 平成22年6月22日現在) (所在: 文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/06/1295019.htm))</p>	

	<p>達成目標(2)</p> <p>○測定指標: 科学研究費補助金の採択件数「科学研究費補助金の配分について」 (作成: 文部科学省)(作成又は公表時期: 平成23年2月24日)(基準時点又は対象期間: 平成22年度) (所在: 文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1302515.htm))</p> <p>○測定指標: 研究成果として報告のあった研究論文数、図書数、産業財産権数については、通常は補助事業実施年度の翌年度の5月30日までに報告のあった数字を集計しているが、繰越の承認を受けた研究課題については、翌々年度の5月30日までに報告があったものまで対象としている。</p> <p>達成目標(3)</p> <p>○測定指標: 『政策や社会の要請に対応した人文・社会科学研究推進事業』における中間評価・最終評価の結果」 (作成: 日本学術振興会)(作成又は公表時期: 各年度末)(基準時点又は対象期間: 当該年度) (所在: 日本学術振興会(http://www.jpsps.go.jp/j-needs/hyouka_saisyu.html))</p> <p>○測定指標: 「政策や社会の要請に対応した人文・社会科学研究推進事業」実施課題数 (作成: 文部科学省)(作成又は公表時期: 各年度審査後速やかに)(基準時点又は対象期間: 当該年度) (所在: 日本学術振興会)</p> <p>○測定指標: 「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」において整備されている共同利用・共同研究拠点数 名称: 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 採択拠点一覧 (作成: 文部科学省)(作成又は公表時期: 平成21年5月)(基準時点又は対象期間: 当該年度) (所在: 文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/a_menu/kyoten/1295723.htm))</p>
主管課(課長名)	研究振興局振興企画課(永山 賀久)
関係局課(課長名)	研究振興局学術機関課(澤川 和宏)、同学術研究助成課(渡邊 淳平)

(参考)関連する独立行政法人の事業

独法名	22年度予算額(千円)	事業概要
独立行政法人日本学術振興会	129,781,000千円 (科学研究費補助金)	科学研究費補助金のうち、日本学術振興会が交付を担当する研究種目等について、公募・審査・交付業務を行う。
独立行政法人日本学術振興会	40,000,000千円 (最先端研究開発戦略的強化費補助金)	若手・女性研究者が活躍する研究基盤等を強化するための助成業務を行うとともに、優れた国際共同研究に携わる若手研究者の海外派遣を支援するための業務を行う。